

安全に関する改善提案

記入日: 18年 4月 17日
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類
設計	2	1, 4, 5	1	4

改善の概要:
 導流壁波返しの変更

メリット:
 型枠、足場工の重複施工がなくなる。

デメリット:
 型枠、コンクリート工の数量が増える。

改善前 (略図または写真)

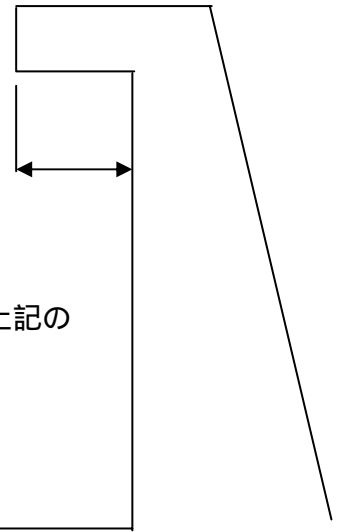
導流壁断面図

波返し張り出し部は1.0～1.5mの構造となっている。

側壁の型枠は、スライド式の大型枠か、バラ型枠で施工している。

波返しの型枠は、特性のスライド型枠か
 底盤から型枠支保工を立ち上げる

などの方法となるため、側壁用の型枠や足場をすべて解体したあとに上記の作業を行っている。



改善後 (略図または写真)

小規模ダムでは、水利実験等の結果設計されたのではなく
 既存のモデルをそのまま活用している例がほとんどである。

必要な場合でも高さで補えないのか検討の余地がある。

張り出し部がなくなれば、作業が単純になり安全作業となる。

